

保健福祉企画総務課長 様

担当課長 北区役所地域整備課

課長 井野川 徹也

岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員の  
意見等について（報告）

下記施設整備事業について、平成31年3月15日岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員（以下「委員」という。）に意見を聴いた結果を報告します。

記

事業名 (整備概要)	県庁通り歩いて楽しい道路空間創出事業	
委員からの意見	委員の意見に対する回答	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今回は市役所筋から柳川筋までの計画だが、柳川筋より東側も整備する計画はあるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 柳川筋より東側はバスの通行量も多く車線を減らすことは難しいと考えているため、現時点で整備する計画はありません。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 植樹の根上がり対策は考えているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 根上がりを防止するシートを設置するなど対策を施します。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 駐輪場は設けないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歩道内に駐輪場は設置しません。県庁通り周辺の既存駐輪場への誘導等実施していきたいと思います。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 車の速度抑制について、クランクを設ける以外にも方法があると思うが検討はしたのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ハンプ（車道に突起を設け速度を抑制する手法）も検討したが、周辺に民家もあり、振動等の観点から設置はしていません。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交差点部分のカーブについて、点字ブロックがカーブしないよう、直線部分をの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交差点部分のカーブについては、緊急車両等も曲がれるよう設計しております。</li> </ul>	

<p>ばすことはできないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● なぜ黒色の点字ブロックを選定したのか。黄色の方がわかりやすすくないのか。</li> <li>● インターロッキングのがたつきが気になる。</li> <li>● 街なかには放置自転車も多いが駐輪場は必要ないか。</li> <li>● 点字ブロックについて輝度を確保できないのであれば、ブロックの横に線を入れるといった対応はとれないのか。</li> <li>● インターロッキングではなくカラー舗装にすることはできないのか。</li> <li>● エスコートゾーンと点字ブロックが連続するよう、歩道と接するように設置できないか。</li> <li>● 点字ブロックに隙間ができないようにしてほしい。</li> <li>● 横断歩道がない交差点に横断歩道を設置することはできないか。またすべての横断歩道にエスコートゾーンを設置し</li> </ul>	<p>関係機関とも協議を行い検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● グレー系（ウォームグレー）の歩道舗装材を選定しているため、通常の黄色の点字ブロックだと輝度比の確保が難しく、「道路の移動等円滑化整備ガイドライン」にも従い、輝度比が確保でき、また景観にも配慮したダークグレーを選定しています。</li> <li>● 従来のインターロッキングとは異なり、基礎も頑丈にし、さらに段差抑制のチップ（台座）を設置します。</li> <li>● 既存駐輪場の利用を促せるよう検討します。また現在、広がった歩道空間の活用を沿道や地域の方と一緒に検討しているため、その中でも話し合っていく予定です。</li> <li>● 検討します。</li> <li>● 景観上の観点及び、今回の整備においてはずれ防止の強化板を設置するなど段差抑制対策等を行うことなどから、歩道の素材はインターロッキングを採用することとします。</li> <li>● 「道路の移動等円滑化整備ガイドライン」及び「岡山県福祉のまちづくり条例」に基づき設置します。</li> <li>● 上記基準に基づき設置していますが、工事の際、なるべく少なくなるように対応します。</li> <li>● 横断歩道やエスコートゾーンは警察の管轄となります。エスコートゾーンについては、すべての交差点に設置したいと</li> </ul>
--	--

<p>てほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自転車が歩道にあがらないよう、当初は交通誘導員を配置するなど対応していただきたい。</li> <li>● 交差点付近等の点字ブロックを直線にすることはできないか。</li> <li>● 車道と自転車レーンを、ブロックを設ける等物理的に分離することはできないか。</li> <li>● ボラードをもっと車道側に設置することはできないか。</li> <li>● 路上駐車されないよう、荷捌き場への誘導や告知をしっかりとしてほしい。</li> <li>● バス停について「浜東・中区役所前」のバス停（中区役所の南）でも採用している三角形切り込み型にできないのか。</li> <li>● 歩道のインターロッキングに関すること、点字ブロックに関することについては、再度検討してほしい。以前、同様の対応をしていただいたこともあるが、景観を踏まえても他の対応ができると思われる。</li> </ul>	<p>協議は行っていますが、音響装置付信号機が設置してある交差点のみの設置と伺っています。引き続き協議を行いたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自転車走行中に危険を感じた場合などは歩道を通行することもやむを得ないですが、原則は自転車レーンを通行していただくよう引き続き啓発等にも取り組んでまいります。</li> <li>● 「道路の移動等円滑化整備ガイドライン」及び「岡山県福祉のまちづくり条例」に基づき設置します。</li> <li>● 物理的に分離するために必要な幅員を確保できないため、物理的に分離することはできません。</li> <li>● 建築限界があるため、車道から一定間隔離す必要があります。</li> <li>● 現地の様子を確認しながら、関係機関と協議を行い、対応等を検討していきます。</li> <li>● 切り込み型を採用すると、歩道幅員が狭くなり、バスの最後尾が自転車走行空間にでてしまい、バスからの視認性が悪くなるため、安全性を考慮し、現在の形状を採用しています。なお、バスの正着性を高めるための工夫を検討します。</li> <li>● インターロッキングについては、ずれ防止の強化板を設置するなど段差抑制対策等を行うことから、歩道の素材はインターロッキングを採用することとします。点字ブロックに関しては、障害者団体等とも協議をし、検討します。</li> </ul>
---	--